



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場会社名 OKK株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6205 URL http://www.okk.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮島 義嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 道岡 幸二 (TEL) 072-771-1159
 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (金融機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	10,744	△16.5	△175	—	△616	—	△589	—
28年3月期第2四半期	12,868	11.2	609	51.2	566	6.9	457	3.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △717百万円(—%) 28年3月期第2四半期 391百万円(△59.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△7.46	—
28年3月期第2四半期	5.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	48,930	20,699	42.3
28年3月期	48,225	21,733	45.1

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 20,699百万円 28年3月期 21,733百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2 28年3月期期末配当金の内訳 普通配当 2円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	△10.2	300	△75.0	50	△94.0	50	△91.0	0.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期2Q	81,465,568株	28年3月期	81,465,568株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	2,428,116株	28年3月期	2,426,016株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期2Q	79,038,850株	28年3月期2Q	79,049,996株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成28年11月14日(月)に金融機関向け平成29年3月期 第2四半期決算説明会を開催いたします。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P 3
(4) 追加情報	P 3
3. 四半期連結財務諸表	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 9
(継続企業の前提に関する注記)	P 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国は設備投資に停滞感が見られ、欧州は、英国のEU離脱決定や地政学的リスクへの懸念が一段と強まる等、先行きの不透明感が増大しました。

中国経済の減速により、アジア全体は成長が鈍化した状況が続きました。一方、我が国経済は、円高の進行による収益の悪化等から、企業が設備投資に対して慎重になりつつあり、工作機械受注は総じて足踏み状態で推移しました。

このような状況下、当社グループでは、次の100年に向け、当期を初年度とする10年間の新中長期経営計画「Neo Challenge (ネオチャレンジ)」を策定し、そのファーストステージ3年間の目標を「事業基盤の更なる強化と新事業への挑戦」と定めて取り組みを開始しています。

主力の工作機械部門においては、4月に大阪で開催されたINTERMOLD 2016 (第27回金型加工技術展) に、コストパフォーマンスに優れた立形マシニングセンタVM53Rと、コンパクト立形マシニングセンタVB53の2機種を出展し、高品位・高効率の金型加工をアピールしました。また、9月に米国のシカゴで開催されたIMTS 2016 (International Manufacturing Technology Show 2016) には、量産加工に適した横形機や航空機部品等の工程集約を可能にする5軸加工機を含むマシニングセンタ5機種を出展し、北米市場において拡販に努めました。更に、国内外の展示会にOKKのブランド力である重切削・高剛性の機種を中心に積極的に出展し、拡販に努めました。

また、生産部門においては、物流改革と生産改革を合体させた「OKK生産力向上プロジェクト」を発足させ、安定性・信頼性の高い製品の提供、効率の高い生産体制を目指し、受注から生産、納品までのプロセスの改善を目的に、システムの構築に取り組みました。

しかしながら、プロジェクトへの先行投資とシステム変更による生産への影響、第1四半期での海外の落ち込み等があったことから、国内は比較的堅調に推移したものの全体の落ち込みをカバーするまでには至らず、売上高、営業利益ともに計画を下回る結果となりました。このため、為替差損を補いきれず、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともにマイナスとなりました。なお、プロジェクトへの先行投資の効果は第3四半期末から第4四半期にかけ、利益に貢献するものと見込んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、10,744百万円 (前年同期比16.5%減) となり、営業損失は175百万円 (前年同四半期は営業利益609百万円)、経常損失は616百万円 (前年同四半期は経常利益566百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は589百万円 (前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益457百万円) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は48,930百万円となり、前連結会計年度末と比較して704百万円の増加となりました。これは主に、たな卸資産の増加2,246百万円、受取手形及び売掛金の減少1,178百万円、現金及び預金の減少343百万円などによるものであります。

負債は28,230百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,738百万円の増加となりました。これは主に、借入金の増加1,527百万円、社債の増加200百万円などによるものであります。

純資産は20,699百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,034百万円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上589百万円、配当金の支払による減少316百万円、為替換算調整勘定の減少150百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成28年8月5日公表いたしました数値を変更しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「平成29年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値の差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,023	3,680
受取手形及び売掛金	7,630	6,452
たな卸資産	10,790	13,036
その他	497	685
貸倒引当金	△36	△45
流動資産合計	22,905	23,810
固定資産		
有形固定資産		
土地	15,426	15,416
その他(純額)	6,643	6,482
有形固定資産合計	22,070	21,898
無形固定資産	625	631
投資その他の資産		
投資有価証券	2,025	2,041
その他	613	562
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	2,623	2,589
固定資産合計	25,319	25,119
資産合計	48,225	48,930
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,294	4,301
短期借入金	6,277	7,458
1年内償還予定の社債	—	100
未払法人税等	43	56
賞与引当金	244	215
製品保証引当金	75	70
その他	1,303	1,450
流動負債合計	12,238	13,651
固定負債		
社債	100	200
長期借入金	4,207	4,553
再評価に係る繰延税金負債	4,521	4,521
退職給付に係る負債	4,018	3,994
その他	1,405	1,309
固定負債合計	14,252	14,578
負債合計	26,491	28,230

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,283	6,283
資本剰余金	1,455	1,455
利益剰余金	4,434	3,529
自己株式	△535	△535
株主資本合計	11,637	10,731
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	454	473
土地再評価差額金	9,764	9,764
為替換算調整勘定	42	△108
退職給付に係る調整累計額	△166	△162
その他の包括利益累計額合計	10,095	9,967
純資産合計	21,733	20,699
負債純資産合計	48,225	48,930

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	12,868	10,744
売上原価	9,712	8,477
売上総利益	3,156	2,266
販売費及び一般管理費	2,547	2,441
営業利益又は営業損失(△)	609	△175
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	31	29
売電収入	16	16
その他	5	7
営業外収益合計	59	59
営業外費用		
支払利息	66	60
為替差損	9	409
その他	26	30
営業外費用合計	102	500
経常利益又は経常損失(△)	566	△616
特別利益		
有形固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
災害による損失	—	8
有形固定資産処分損	0	1
特別損失合計	0	9
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	565	△625
法人税、住民税及び事業税	134	23
法人税等調整額	△26	△58
法人税等合計	108	△35
四半期純利益又は四半期純損失(△)	457	△589
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	457	△589

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	457	△589
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△127	18
為替換算調整勘定	△5	△150
退職給付に係る調整額	65	4
その他の包括利益合計	△66	△128
四半期包括利益	391	△717
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	391	△717
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	565	△625
減価償却費	407	441
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	8
賞与引当金の増減額(△は減少)	11	△29
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	125	△20
受取利息及び受取配当金	△38	△35
支払利息	66	60
売上債権の増減額(△は増加)	1,751	1,039
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,121	△2,524
仕入債務の増減額(△は減少)	7	11
その他	△323	342
小計	1,454	△1,328
利息及び配当金の受取額	39	34
利息の支払額	△66	△62
法人税等の支払額	△144	△15
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,283	△1,371
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△409	△185
有形固定資産の売却による収入	—	3
貸付けによる支出	△1	△40
貸付金の回収による収入	15	30
その他	△122	△40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△518	△230
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△265	975
長期借入れによる収入	780	1,300
長期借入金の返済による支出	△870	△751
社債の発行による収入	—	196
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△156	△314
リース債務の返済による支出	△132	△124
財務活動によるキャッシュ・フロー	△646	1,281
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△21
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	112	△343
現金及び現金同等物の期首残高	4,529	3,933
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,642	3,590

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。